

研究所ニュース No.75

りべらしおん

「りべらしおん」は、フランス語で「解放」という意味です。

発行：公益社団法人 福岡県人権研究所

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎4階 TEL 092-645-0388
FAX 092-645-0387 e-mail:info@f-jinken.com URL:http://www.f-jinken.com/

人権研究の深化・拡大と社会的貢献の強化を

公益社団法人福岡県人権研究所 所長 松尾祐作

新しい年度を迎えました。会員の皆様には、日頃より研究所の運営にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。事務局は、今年度も昨年度と同様の陣容で取り組むこととなりますが、一層弾力的・機動的な事務局運営をめざしたいものです。研究所は、公益社団法人化して3年が経過しました。色々課題はありますが、公益法人としての基盤作りが緒についたところです。法人の趣旨に添った研究所の姿に向けて更に努力を傾けていく所存です。

例年申し上げているところですが、研究所は色々な課題をかかえています。

第一は財政的自立の課題です。現在も自治体の補助金に大きく依存していますが、それも過去3年間にわたって削減され、運営が厳しさを増しています。各種の受託事業などで補ってききましたが、運営上厳しい

事に変わりはありません。

第二に、上記の事とも連動しますが、会員の減少と高齢化の課題があります。会員の大増員運動が必要かもしれません。これは事務局や執行部のみで出来る事ではありません。全ての会員による、企業、行政、知人・友人などあらゆる関係を通じての働きかけが求められるでしょう。

第三に、これらの課題に立ち向かうためには、研究所の社会的認知度を高め、広げる事が必要です。すなわち研究所の存在理由を確かなものにしていくことが求められます。そのためには、研究所の使命である人権問題に関する研究の深化・拡大と啓発や社会的貢献の強化が求められます。

多くの会員の参加によるこうした課題への取り組みが積極的に展開されるよう期待したいものです。

(公社)福岡県人権研究所
2016年度
定時会員総会
と 記念講演

▷日時 2016年5月29日(日) 13:00 開会 (受付12:30~)

▷日程

12:30 13:00 14:20 14:30 16:00 16:10

| | | | | |
|----|--------|----|------|-----|
| 受付 | 定時会員総会 | 休憩 | 記念講演 | 諸連絡 |
|----|--------|----|------|-----|

▷会場 福岡県人権啓発情報センター(ヒューマンアルカディア)

(春日市原町3丁目1番7号クローバープラザ7階; JR「春日駅」そば) 電話 092(584)1271

▷記念講演 演題 「部落差別の現状と課題」

講師 福永謙二さん

部落解放同盟福岡県連合会執行委員(人権対策部長・教育運動部副部長)

※委任状を出す方は、5月12日(木)までに同封のはがきに必要事項を記入して投函して下さい。

シンポジウム (2015.8.30) 人権博物館の国際発信

水平社宣言を世界の記憶に 報告書 (2016.3.3発行) 基調提案 から

2015年8月30日(日)、人権ネットを活用した地域活性化事業実行委員会主催「シンポジウム人権博物館の国際発信～水平社宣言を世界の記憶に」が、奈良春日野国際フォーラム豊～I・RA・KA～で行われました。これは、文化庁「平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」として行われたものです。その報告書(2016.3.3発行)届きましたので、当日の森山理事長による基調提案を一部抜粋して紹介します。

世界記憶遺産登録による国際発信

ー日本初世界記憶遺産 山本作兵衛

コレクションの経験を通してー

(公社)福岡県人権研究所理事長

森山 沾一

公益社団法人福岡県人権研究所の理事長をしております森山でございます。私は同対審答申が出た年、18才の時から福岡の方で、部落解放運動と出会いまして、50年間、解放運動に関わってまいりました。専門は教育学で先程紹介いただきました本などを書いているわけですが、14年前に山本作兵衛さんが日記を残していたのを発見したのです。7つ、8つからカンテラ下げて、学校も小学校2年生までしか行ってなかったが20才から字の勉強をはじめた炭坑夫です。その作兵衛さんの日記やいろんな資料を発見

しまして、

学生や市民と共に読んできた、それが4年前に日本で初めての世界記憶遺産になったわけです。

私の本命は、先ほど川口正志実行委員長(公益財団法人奈良人権文化財団理事長)も言われていたように、「水平社宣言」が原点としてあるといこともありますので「水平社宣言」を世界遺産にと考えておりました。そうしたところ奈良の方、京都の方、大阪の方、そして部落解放同盟全国委員長である福岡出身の組坂委員長などの動きがあり、私も幹事という事で「めざす会」の役員に置かれています。今日は、世界遺産とはどういうものか、そして、作兵衛さんの作品が世界遺産になった経過や今日の後のシンポジウムにつながる国際的な流れをプレゼンテーションも含めて話していきたいと思っています。

山本作兵衛さんは92才で亡くなりましたが、還暦から92才まで健康長寿で炭坑記録画を描かれていました。こ



シンポジウム 「人権博物館の国際発信 ～水平社宣言を世界の記憶に～」報告書
目次
・全国水平社創立大会 綱領 宣言 2
・全国水平社創立大会 則 決議 3
・主催者挨拶 人権ネットを活用した地域活性化事業実行委員会 実行委員長 川口正志 4
・来賓挨拶 奈良県副知事 奥田喜博 5
・基調講演 「世界記憶遺産登録による国際発信」 公益社団法人 福岡県人権研究所理事長 森山沾一 6
・シンポジウム報告① 「全国水平社創立宣言の世界的意義」 大阪人権博物館館長 朝野 武 12
・シンポジウム報告② 「水平社創立の国際的意義」 オックスフォード大学教授 イアン・ニアリー 19
・シンポジウム報告③ 「水平社と水平社 国境を越えた被差別民の連帯」 慶応大学教授 金仲愛 25
・パネル討論 30
(参考資料) 35
講演・報告資料
資料1 基調講演「世界記憶遺産登録による国際発信」 36
資料2 報告①「全国水平社創立宣言の世界的意義」 46
資料3 報告②「水平社創立の国際的意義」 49
資料4 報告③「水平社と水平社 国境を越えた被差別民の連帯」 53
講演者・パネリスト略歴 65

の絵はこの方の代表作、同じ種類のものをかなり描いておりますが、ちょうど今の IT、グローバル化の時代と似ています。明治30年代、「かわひらた」という船で川下りして船で石炭を運んでいたのが、列車ができて、「ウーム、オカ蒸気め、オカ蒸気が自分たちの飯茶碗たたき落としやがった(失業し飯が食えなくなった)」とオカ蒸気を見る作兵衛さんのお父さんの福太郎さんを描いた絵でございます。最初に4年前に日本で初めての世界記憶遺産ということでNHKで放映された番組を10分間だけご覧ください。～DVD～

私たちは、2002年、18年間空き家になって忘れ去られていた山本作兵衛さんの終の棲家が壊されるといとき、何かあるかもということ調査しました。そして、これだけの日記がありました(たくさんの日記の写真)。山本作兵衛さんについては私は大学で習ったのではなく、先輩からいろんな事を教わっていました。「筑豊には宝の山がある。」本当に宝物を見つけて、大変うれしかった思いがあります。現在も火曜日の午後1時から3時まで、学生・院生・市民の方とく読む会>を開催し、読み解いて、今年で我々が発見した日記がほぼ読み終わります。

私は、生活者としての知識人作兵衛さんを大変尊敬しています。82才の日記でも「自分は無学無能で、そして貧乏だ。」こういうことを書いて92才の1ヶ月前まで日記を残しています。自らが完全ではないという、ソクラテスの

言う知識人。こういうことを含めた、ここでぜひ名前を出したいのですが、永末十四雄さんや上野英信さんなどの先人の眼力というか、これが世界に認められたのです。旧産炭地や炭坑はマイナスイメージで北原白秋とか与謝野鉄幹の『五足の靴』の中で大牟田の炭坑は、地獄だと表現している。しかし、地獄が実は天国なんだ。こういうプラスイメージで言うようになった。また、まちづくりまちおこしになってきている。

昨日、奈良の国立博物館などで国宝の仏像などを見てきました。あれはあれですばらしいのですが、ユネスコは無名のまま亡くなった、歴史の中に埋もれてしまっているこういう人を残している。こういうことを私たちはこの4年間勉強してきたわけです。～中略～

最後のスライドです。この絵は、山本作兵衛さんの私どもが発見している1,226枚のうちの、米騒動の絵の一つとして描いたもので、盆踊りです。作兵衛さんは、厳しい中でも、何かゆとりと温かさ、そういうものを教えてくれているのではないかと思います。これから、厳しい時代が来る中で、冬来たりなば春遠からじ。今日のネクタイは井元麟之さんのものですが、何年かかっても『水平社宣言』を世界記憶遺産としてめざす必要があると思っています。

この報告書は、目次にあるようにシンポジウム、パネル報告の他、プレゼンテーションも講義報告資料として掲載されています。研究所に寄贈されましたので、ぜひ一読ください。(担当: 峰司郎)

海外人権スタディツアー企画部会 報告

第12回海外人権スタディツアーは、1月、フィリピンで企画中です

4月16日(土)、ココロンセンター(福岡市)で2016年度第1回海外人権スタディツアー企画部会を行いました。

はじめに「フィリピン・セブ島を中心とした環境問題への取り組み」というテーマで地球環境戦略研究機関北九州アーバンセンタータスクマネージャー(持可能な都市担当)のジャガット プレマクマラさん(写真右)にプレゼンテーションを行っていただきました。プレマクマラさんのセブ島のゴミ問題や人々の様子について熱のこもった分かりやすいお話。参加者は、セブ島のゴミ問題や



見学についての課題をイメージすることができました。

その後、プレクマラさんや旅行社の方を交えて、「第12回海外人権スタディツアー in フィリピン」の日程と訪問地について協議しました。現在の段階での企画案は次のとおりです。(様々な要因を踏まえて変更することがあるので注意して下さい。)

期 日 ; 2017年1月4日(水)~8日(日)
訪問地 ; フィリピン セブ・マニラ
内 容 ; スモークマウンテン見学、現地の人々との交流、観光
※ 内容はフィリピンのNPOの方と協議し

て具体化し、旅行社に企画を提案する予定です。

* * * * *

海外人権 ST 企画部会は、今後2回の事前学習会を計画しています。

その1回目は、8月(日時場所は未定)に、プレクマラさんを再度講師にお願いして行います(兼第1回事前学習会)。

環境問題に関心のある方の学習会への参加も可能です。8月の学習会の詳細な日程は、今後ニュースやホームページでお知らせします。

(担当 ; 峰)

投 稿 全 国 人 権 ネ ッ ト ワ ー ク

人権ネット加盟団体から、今号では「田川地区人権センター」を紹介します。

田川地区人権センター (福智町人権のまちづくり館内)
地域の歴史を大切にしたい人権のまちづくりをめざして

◇ 成り立ち

田川地区では、2000年に差別落書き事件が連続して起きました。県道に沿ったガードレールなどに部落差別の言葉を書き、消してもまた書くという大変悪質なものでした。この事件をきっかけに、田川地区全域で人権の取り組みを行うために、田川地区人権センターを設立しました。

現在、人権講座、住民向けの啓発冊子の作成、筑豊を中心とする炭坑の歴史の掘り起こしと現状の記録、そして昨年度から、韓国の高校生の見学案内などを行っています。田川に暮らす人々の人権が尊重され、差別や偏見及び人権侵害のない社会の実現をめざして取り組みを進めています。

◇ 人権講座①

この講座は、田川市郡の行政職員を主な対象とし年5回開催しています。

様々な人権課題を取り上げ、その当事者を中心に講演をしていただいています。2015年度の講座を紹介します。

第1回は、北九州の青春学校にも取り組んでこられた、柳井美枝さんです。在日としての自らの体験と青春学校に取り組んだ経過を詳しく話していただきました。

第2回は、部落解放同盟福岡市協議会の池勝さんです。福岡市内の大量差別落書きをなくす取り組みが、人権のまちづくりにもつながっていくことを話していただきました。

第3回は、西鉄本社の有働さんです。企業が起こした差別事件から、企業内研修を実のあるものにする取り組みを話していただきました。

第4回は、久留米の障害者自立支援センターの古川克介さんです。自らの育った時の話、障害をもった人も、そうでない人も

対等に共生できる社会を創るにはどうしたらよいかを話していただきました。

◇ 人権講座②

もう一つは、主に管理職と実務者を対象とした講座でした。昨年度は、県の人権啓発情報センターと共催でした。講師は立教大学の萩原なつ子さんで「男女共同参画でつくる誰もが暮らしやすい社会」という題で非常に分かりやすく楽しい話をしていただきました。人権には、多くの課題があります。参加者が職場に戻り業務の中で生かせる内容にしていくことを大切にしています。

◇ 住民向けの啓発冊子の作成

田川市郡の啓発担当者、筑豊教育事務所、田川地区人権センターと印刷業者とイラストレーターが論議しながら、完成まで約4ヶ月をかけます。原案をもとに論議を続ける、その過程でテーマに関する理解も少しずつ深まっています。2013(平成25)年度に作成した「炭鉱と人権」をテーマとした冊子



は、法務局の出版物部門で優秀賞になりました。今年度は「高齢者の人権」について分かり易い内容をめざし

ました。とかく支援や保護の対象として見られがちな高齢者のとらえ方から、尊厳をもつ

て生きる人間としてとらえる視点で作成しました。(上は、高齢者の人権をテーマにした啓発冊子の表紙)

◇ 筑豊を中心とする炭鉱の歴史の掘り起こしと現状の記録

かつて、筑豊地区は日本で最大の石炭を産出する地域でした。しかし、炭鉱が閉山してからは跡地は荒れ、子どもたちの地域に対する郷土愛も育ちにくい状況でした。

このような中で、炭鉱資料の収集編集、現状の調査など当時の記録として残すことが極めて大切です。炭鉱関係の調査を行い記録、保存に努めています。世界記憶遺産になった山本作兵衛さんの炭坑画を見ていただくとともに、この絵の持つ意味や、作兵衛さんの生き方、その頃の炭坑や人々の生活の様子について伝えています。合わせて田川地区に残る炭坑労働者の慰霊碑や無縁墓碑の見学に県内外の方が訪れています。

◇ 韓国の高校生との交流

昨年度から、梁山市の暁巖(ヒョアム)高校の学生が田川を訪れ、田川と韓国の古代からのつながりや炭鉱で働いた朝鮮人労働者のことを学習するようになりました。

文禄、慶長の役と関係が深い上野焼の窯元を訪れ、その歴史を聞いたり、韓国人の慰霊碑や市営の霊園に残る無縁墓碑を訪れ、慰霊をしました。



写真上 : ヒョアム高校のサムルノリの様子

そのほか、人権に関する図書ビデオ貸し出しを行っています。ご来館お待ちしております。

田川地区人権センター (福智町人権のまちづくり館内)
 〒 822-1101 田川郡福智町赤池 970-4 (平成筑豊鉄道伊田線ふれあい生力駅、赤池駅近く)
 Tel/ Fax 0947-28-5230 E-mail : keihatsu@lime.ocn.ne.jp
 ○入館 ; 無料 ○休館日 ; 土・日・祝日 ○開館時間 ; 9時～17時

寄贈図書紹介

**山田 明『教育に新聞を NIEで町づくり』
～高校生のサービス・ラーニング～**



「町づくりには、地域社会の住民が地域活性化の視点で責任ある市民として主体的に参加することが望まれる。特に、これからの時代に生きる高校生に町づくりの担い手になってもらいたい。そのためには、責任ある市民となるための学びが必要であり、市民としての資質及び能力、いわゆる市民性(シティズンシップ)の涵養が期待される。この市民性の涵養をめざす教育方法に、NIE(教育に新聞を)とSL(サービス・ラーニング)がある。」(「はじめに」より)

著者の山田 明さんは、北九州市の自由ヶ丘高校教諭を経て、2016年度から九州共立大学スポーツ学部准教授に就任されています。これまでも、本研究所の教育部会に所属し、人権・「同和」教育の課題である自己肯定感(自尊感情/セルフエスティーム)を育てる実践や教育目標としての「市民性」についての貴重な報告をされています。理論と実践のヒントが満載の貴重な一冊を寄贈していただきました。事務局にあります。ぜひお読みください。

(発行 2013年12月16日 発行者 NPO サービス・ラーニング・フォーラム)

4. 30(土)理事会、5. 29(日)定時会員総会等で一部変更の可能性があります。ぜひ個人・家庭・職場のカレンダーに仮登録を!!

2016年度事業予告編

第2回啓発担当者のための人権講座
 日時 : 10月21日(金) 10:00～16:30
 場所 : 福岡県部落解放センター
 内容 : (1) 講演(講師未定)
 (2) 報告
 「福岡県における住民意識調査の結果とこれからの課題(仮)」
 (3) ワークショップ(分かれ合い)

第14回筑前竹槍一揆ウォーク in 宇美
 日時 : 11月6日(日) 10:00～15:30
 場所 : 宇美町中央公民館
 内容 : (1) 筑前竹槍一揆について
 講師 石瀧 豊美
 (2) 宇美町の見どころ
 講師 塚本 博和
 (3) 宇美町ウォーク

公益社団法人福岡県人権研究所 2016(平成28)年度 年間事業計画 (仮案)

| 月 | 機関会議、総務等 | 調査・研究活動事業 | 県民啓発/出版事業 | 関連行事 |
|----|--|---|--|--|
| 4 | 辞令交付(4) 定期監査(8) 第1回部長等会(14) 補助金報告、申請提出(30) 第1回執行理事会、第1回理事会 | 第1回海外人権スタディーツアー企画部会(16 福岡市/ブルマカラ「フィリピンの環境問題」) 第68回松本・井元研(22) 第1回教育部会(23 福岡市) 第1回歴史学習P(26 須恵町「江戸時代の人体解剖①」) | 編集委員会(18) 「リベらしおん」(No.73) (20) | 福岡県隣保館連絡協議会総会(28) |
| 5 | 総会の招集通知発出(2) 定時会員総会(29) (総会途中で第2回理事会(人事)) | 第1回部落史研究部会(14) 第1回啓発部会(22 福智町) 第2回歴史学習P(24 須恵町「江戸時代の人体解剖②」) 第69回松本・井元研(27) 第1回史料P(古文書)(28) ★総会後記念講演(29/福永謙二「部落差別の現状と課題」) | 『リベラシオン』(No.162 特集;人権講座) | 福岡県同教定期総会(31) |
| 6 | 公益法人定期提出書類提出(30 期限) | ○史料整理・保管作業 第2回史料P(古文書)(11) 第70回松本・井元研(24) 第2回教育部会(25 福岡市) 第1回外国人部会(26 福岡市) 第3回歴史学習P(28 須恵町「自由民権運動と部落解放運動」) ★第189回定例研究会(兼第1回ジェンダー部会(26 福岡市/柳 淑子「男女共同参画」)) | 編集委員会() 「リベらしおん」(No.74) (20) | 福岡市協定期総会(4) (第50回福岡県地方史研究協議会) 全国人権ネットワーク第21回総会(23～24 三重) |
| 7 | 第2回執行理事会(24) | ○史料整理・保管作業 ★第190回定例研究会(九州地区部落解放史研究会報告検討会兼第2回部落史研究部会兼第3回史料P) 第71回松本・井元研(22) 第2回啓発部会(23) 第3回教育部会(23 福岡市) 第4回歴史学習P(26 須恵町「水平運動と融和運動」) | | (部落解放同盟福岡県連定期総会) (全国部落史研究大会) □ムーブフェスタ/北九州市) |
| 8 | 夏期閉局(8/12～15) (局員中間ヒアリング) | 第5回歴史学習P(21 甘木、久留米FW) 第72回松本・井元研(26) 第3回啓発部会(27) 第4回史料P(古文書学習)(27) 第2回海外人権スタディーツアー企画部会 | 『リベラシオン』(No.163 特集;「近代化産業遺産」) 「リベらしおん」(No.75) (20) | 県人権・同和教育夏期講座(4) 九州地区人権・同和教育夏期講座(22,23 福岡) 第47回高野山夏期講座2016 (「部落解放・人権夏期講座」) 九州地区部落解放史研究会 (27,28 鹿児島市) |
| 9 | 公益法人定期提出書類提出(2) 第3回執行理事会(25) 決算前期見込額算定 | ★第1回啓発担当者のついで(9 北九州市/人権フォーラム21 市民講座と共催「水俣60年」) 第5回史料P(古文書)(10 古賀市) 第73回松本・井元研研究会(23) 第4回教育部会(24 福岡市) 第2回ジェンダー部会(兼下旬?/東京)(東日本部落解放研究所「浅草・吉原跡FW」) 第2回外国人問題部会(「海外の人権問題(難民等)」) 第6回歴史学習P(27 須恵町「労働・農民運動と部落解放運動」) | | □人権フォーラム21 市民講座(9 北九州市) |
| 10 | | 第3回部落史研究部会(部落問題学習) 兼第6回史料P(古文書)(8 古賀市) ★「啓発担当者のための人権講座」(21 福岡市(福岡県部落解放センター)/第2回啓発担当者のついで、第191回定例研究会、第4回啓発部会を兼ねる。福岡市との共催事業※) 第5回教育部会(22 福岡市) 第7回歴史学習P(25 須恵町「松本治一郎の生涯①」) 第74回松本・井元研研究会(28) | 編集委員会() ハートフルフェスタ福岡2016(2 福岡市/展示) ブックレット等企画書作成=次年度発行ブックレット提示 「リベらしおん」(No.76) (20) | 九州地区部落解放史研究会 総括会、第36回全九研打合せ 福岡県人権・同和教育研究大会(15 行橋) 部落解放研究第50回全国集会(18～20 奈良) |
| 11 | 定期監査(4) 概算予算申請 第4回執行理事会(27) | ★「史実と授業・啓発の結合をめざして」(12 古賀市?/第192回定例研究会、第8回歴史学習P「松本治一郎の生涯②」)、第4回部落史研究部会、第7回史料Pを兼ねる。 第3回海外人権スタディーツアー企画部会(説明会) 第75回松本・井元研(25) 第6回教育部会(26 福岡市) | 筑前竹槍一揆ウォーク in 宇美(企画;歴史学習P)(6) 『リベラシオン』(No.164 特集;松本治一郎没後50周年) ふれあいフェスタ(27 北九州市/展示) | 「いのち・愛・人権展(11～17 北九州市) 松本治一郎没後50周年集会(22) 全国人権・同和教育研究大会(26,27 熊本) |
| 12 | 第2回部長等会 年末調整等税金関係事務 | 第5回部落史研究部会兼第8回史料P(古文書)(10 古賀市) 第76回松本・井元研(16) 第5回啓発部会(24 福智町) ○次年度研究助成プロジェクト公募 | 絵本『ぼあちゃんのリヤカー』 「リベらしおん」(No.77) (20) 発行 | 人権社会確立第36回全九研(6,7 佐賀) 第36回九州地区部落解放史研究会打合せ(7 福岡県人権・同和教育冬期講座(25 飯塚) |
| 1 | 第3回部長等会(部会等の事務と次年度計画) 事務局員ヒヤリング 第5回執行理事会(22) | ○本年度総括、次年度計画(案)作成 第5回部落史研究部会(古賀市)兼第9回史料P(古文書学習)(14) 第3回外国人問題部会(技能実習生のいる農家などへの聞き取りFW) 第9回歴史学習P(24 須恵町「日本国憲法と部落解放運動」) 第77回松本・井元研(27) 第7回教育部会(28 福岡市) | 海外人権スタディーツアー(4～8 フィリピンセブ島) 本年度総括、次年度計画(案)作成 | |
| 2 | 局員ヒアリング 補助金実績、事業報告書、決算書・次年度予算書作成 | 第78回松本・井元研(24) 第8回教育部会(25 福岡市) 第10回歴史学習P(28 須恵町「糟屋地区の水平社運動」) ○各プロジェクト成果報告 | 「リベらしおん」(No.78) (20) | 第31回人権啓発研究会 福岡県人権・同和教育実践交流会 |
| 3 | 第6回執行理事会(5) 第3回理事会(5) 公益法人定期提出書類提出 | ★193回定例研究会(次年度全九研報告の検討) 第79回松本・井元研(24) | | |
| 備考 | ○ 法人立入監査 ○ プロジェクト研究助成(5件) ○ 松本・井元研は、特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之研究会」の略 ○ 研究所URLの管理、更新 ○ 史料の整理・保管、データベース化 ○ 全国人権関係研究所交流会(第3回) ○ 『水平社宣言』世界記憶遺産登録をめざす会 ○ 受託事業(人権意識調査、実態調査、研修企画運営、フィールドワーク、作問等) | | | |

【日程、事業内容等は変更することがあります。定時会員総会(5月29日(日))の際に、改めて提示します。】

事／務／局／日／誌／か／ら (2016年3月1日～4月25日)

3月

- 3 木 四役・四者打合せ会
- 4 金 事務局 PCセキュリティ機器設置
- 6 日 第5回執行理事会(福岡県人権啓発情報センター) 第2回理事会(同左)
- 7 月 事務局会
- 17 木 福岡県教委教材集作成委員会
- 18 金 事務局打合せ 福岡市人権啓発センター打合せ来局 第67回松本・井元研究会
- 21 月 春分の日
- 23 水 八女市住民意識調査報告書、概要版納品
- 25 金 朝倉地区住民意識調査報告書納品 公益法人定期提出書類提出
- 29 火 古文書プロジェクト打合せ 海外人権スタディツアー企画部会打合せ
- 31 木 2015年度末会計業務終了

4月

- 4 月 事務局会 辞令交付
- 5 火 監査準備
- 7 木 松本資料凡例打合せ
- 8 金 監査
- 11 月 事務局会
- 13 水 福岡県人権・同和対策局、
福岡市市民局人権部訪問(理事長、所長、西尾副理事長、事務局長)
- 14 木 部会長等会
- 15 金 筑前竹槍一揆ウォーク打合せ
- 16 土 第1回海外ST企画部会(福岡市/プレマクマラ「フィリピン・セブ島を中心とした環境問題への取り組み」)
- 18 月 事務局会 編集委員会
- 19 火 北九州市決算関係書類提出(理事長、所長、事務局)
- 22 金 第68回松本・井元研究会
- 23 土 第1回教育部会(福岡市)
- 25 月 事務局会

※住民意識調査や実態調査等の受託事業に関する調整・事務、研究・研修や教育・啓発に関する相談業務、研修会の企画・運営、講師依頼への対応、補助金申請・報告や公益法人関係事務、関係機関・団体との連携・調整事務等については一部省略しています。

熊本地震 熊本県部落解放研究会への義援金のお願い

2016年4月14日に発生した熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震とその後の本震、800回を超える余震で大きな被害が出ています。九州地区部落解放史研究協議会事務局の熊本県部落解放研究会の事務所(熊本市中央区)にも大きな被害が出ています。研究会の花田昌宣代表も、勤務先の熊本学園大学が緊急避難先となっており、障害を持つ市民をはじめ被災された人々への支援に奔走されています。

部落問題・人権問題に取り組む全国の研究所・研究会と連携し、熊本県部落解放研究会支援のひとつとして義援金を呼びかけます。詳細は同封の「呼びかけ」をご参照ください。(6/30(木)まで)

名称 2016年熊本地震災害 熊本県部落解放研究会義援金

振込先 肥後銀行水道町支店 普通口座 1170659

熊本県部落解放研究会 会長 花田昌宣(ハナダマサノリ)